

# 索道事業安全報告書（2016年度）

2015年8月1日～2016年7月31日



- 第 2 クワッドリフト
- 第 3 クワッドリフト
- 第 4 トリプルリフト
- 第 5 クワッドリフト
- 第 6 ペアリフト

川場リゾート株式会社  
川場スキー場

## 1. 川場スキー場ご利用の皆様へ

日頃から川場スキー場をご利用いただき誠にありがとうございます。また、当スキー場索道事業及びその他に対して、深いご理解を賜り誠にありがたくお礼申し上げます。

川場スキー場はお客様、地域社会、すべての関係者の皆様、スキー場がハッピーとなるような運営を目指しております。

これらのすべてにおいてその基礎は『安全の確保』であり、当スキー場は経営トップからすべてのスタッフが力を合わせ安全輸送、事故防止のため法令の遵守に努めております。



本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための当スキー場での取り組みや安全の実態について、当スキー場をご利用の皆様や、近隣の皆様にご理解いただくために作成、公表するものです。

当スキー場索道事業の安全輸送に役立てたく、皆様からの貴重なご意見を賜れば幸いです。

川場リゾート 株式会社

川場スキー場

代表取締役社長 櫛渕 忠一

安全統括管理者 松井 雅也

## 2. 安全基本方針と安全目標

### 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。社長及び役員は、安全第一の意識をもって、事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用して、輸送の安全を確保するための管理方針、その他事業活動に関する基本的な方針は次に掲げるものとし、安全の確保に関する業務の実施状況を踏まえ、必要に応じて見直すこととします。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

#### 安全目標（2016年度）

当社では全社一丸となった安全管理体制の強化を推進しています。今年度、索道輸送事故は0件でしたが、今後においてもコンプライアンスを重視し、全社一丸となった安全最優先の意識の高揚を図って参ります。また、過去に発生した事故のみではなく、危険の予知・予測、事故には至らなかったヒヤリハット事例を漏れなく収集し、他の事故情報と比較して対策を講じる体制を整備いたします。

#### 索道輸送安全目標（2015年8月1日～2016年7月31日）

- 目標1： 人身障害事故発生0件
- 目標2： 索道保安設備から起因する事故0件
- 目標3： 索道スタッフの不安全行動から起因する事故0件

### 3. 事故等の発生状況と運休状況（2015年8月1日～2016年7月31日）

索道輸送事故 0件  
インシデント 0件  
災害 0件

今年度、索道輸送事故及び、重大事故に至る可能性のある事象は発生しておりません。強風によるリフト運行停止はありませんでしたが、積雪不足による運行停止がのべ14日、104時間にのびました。今後も細心の注意を払い、安全運行を推進しますが、異常時の点検のため運行を一時見合わせる場合がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

#### 4. 索道輸送の安全確保に関する当スキー場の取組み

##### 索道スタッフ教育

平成18年10月、索道安全管理規程を制定して以降、職員の各種索道研修への参加および、毎シーズン前、シーズン中に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しております。研修は経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分けて実施し、研修は安全運行マニュアルの修得及び救助訓練を実施致しました。



##### グループ会社での取組み

日本スキー場開発(株)グループ会社合同で定期的にミーティングを行い、事故・トラブル・ヒヤリハットの事例や対策、技術情報の共有を行うとともに、相互で内部監査を行い、安全性の更なる向上に努めております。



##### お客様の安全対策

場内注意喚起掲示板の設置数を増加しています。また、天候の予知予測を強化し、強風時の運行判断を最適化しています。

##### 緊急時の対応訓練

索道運行停止時の救助訓練、予備原動操作訓練等を実施し、お客様の安全な緊急時誘導訓練を実施しています。

## 5. 索道保安設備の維持管理・改修

整備細則に基づき点検・整備及び検査を実施しました。  
今年度の各リフトは主に以下の整備を実施致しました。

### ■第 2 クワッドリフト

握索機OH、受索輪整備、常用ブレーキ整備、オートゲート設置

### ■第 3 クワッドリフト

受索輪整備、オートゲート設置

### ■第 4 トリプルリフト

受索輪整備、オートゲート設置

### ■第 5 クワッドリフト

受索輪整備、オートゲート設置

### ■第 6 ペアリフト

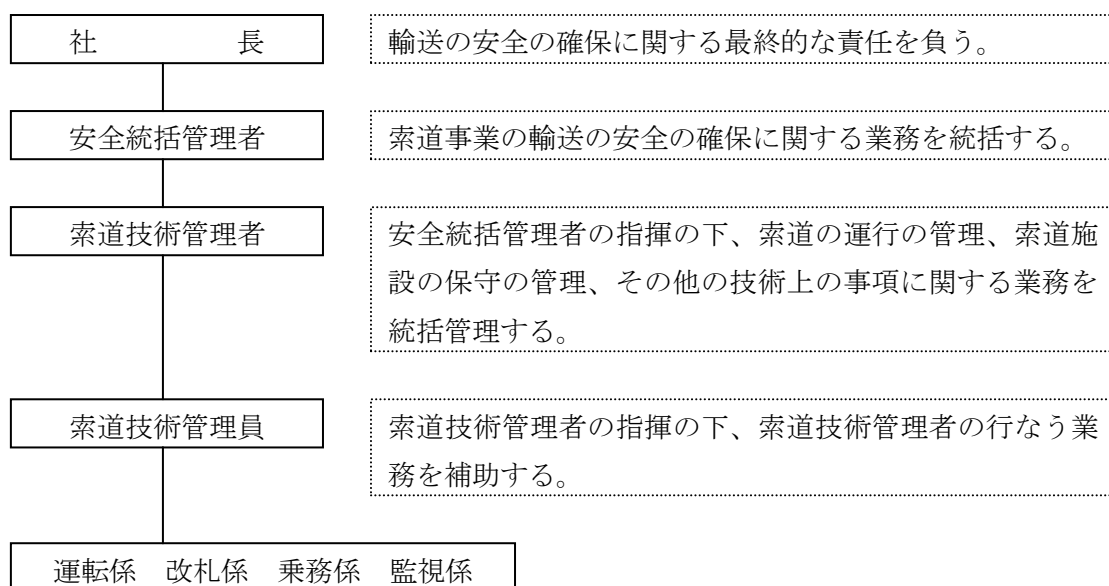
緊張油圧シリンダー整備、受索輪整備、オートゲート設置



また、中長期整備計画を策定し、索道設備の永続的な維持管理に努めています。

## 6. 当スキー場の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



### 役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントの PDCA サイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っています。

## 7. 利用者の皆様の連携とお願い

### (1) お客様の声をかたちにしています

場内にお客様の声を聞かさせていただけるようご意見箱を設置し、安全やサービスレベルの向上の参考とさせて頂いております。ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。また、当スキー場ホームページでもお待ちしております。

### (2) グレンデ内の注意事項とお願い

スキー・スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、また自然災害に巻き込まれないよう十分注意して滑走して下さい。

当スキー場では、事故を無くすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何よりもまずスキーヤー・スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないで下さい。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意ください。
2. 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輛など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従ってください。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

### (3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいますようお願い申し上げます。

## 8. ご連絡先

本報告書へのご感想、当スキー場への安全に関する取組みに対するご意見をお待ちしております。

〒378-0101

群馬県利根郡川場村川場高原

川場スキー場

索道お客様係

Tel 0278-52-3345 Fax 0278-52-3335

E-mail [info@kawaba.co.jp](mailto:info@kawaba.co.jp)